

使ってみよう漢方薬（第2回）

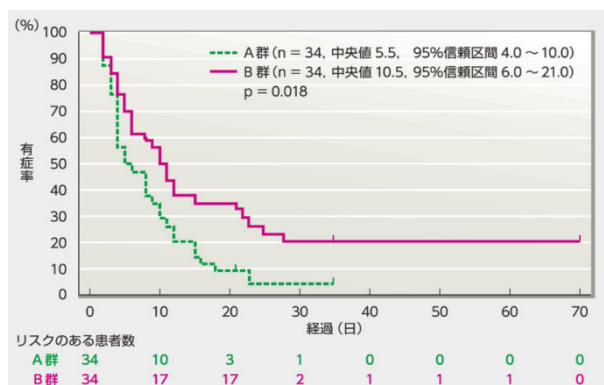
難治性口内炎に漢方薬

まずは **半夏瀉心湯**がおすすめ。
 抗がん剤の副作用の口腔粘膜炎にも効果がある。
 50~100mlの微温湯に1包を溶解してうがいし、
 そのまま内服、1日3回毎食前もしくは食間の内服
 うがいだけでもOK。苦いけど、我慢。
 下痢気味の方は内服してもらった方が良い。

- 胃が痛い人は、**黄連湯**に変更。
- 便秘気味の方は**茵陳蒿湯**に変更。
- 体力低下しているときは、**十全大補湯**に変更。

化学療法誘発性口腔粘膜炎に対する半夏瀉心湯 HANGESHA-C プール解析

A 群：半夏瀉心湯含嗽群 **B 群**：プラセボ群



Grade2 以上の口腔粘膜炎持続時間中央値

A 群 5.5 日 B 群 10.5 日 (A 群で有意に短縮、p=0.018)

Matsuda, C. et al Cancer Chemother Pharmacol. 2015, 76, p97-103

<https://link.springer.com/article/10.1007/s00280-015-2767-y>

口内炎

- 14 半夏瀉心湯
- 120 黄連湯
- 135 茵陳蒿湯
- 48 十全大補湯
- 1 葛根湯
- 34 白虎加人参湯
- 17 五苓散
- 110 立効散

保険病名

- 口内炎 (神経性胃炎、下痢)
- 口内炎 (急性胃炎 胃痛)
- 口内炎 (黄疸、便秘)
- 病後の体力低下、貧血 (手術後や癌など)
- 上半身の神経痛 (三叉神経痛)、炎症性疾患、肩こり
- 口腔乾燥症、ほてり (体が熱いとき)
- 口腔乾燥症、浮腫 (下痢、嘔吐)
- 抜歯後疼痛、歯痛

はんげしゃしんとう

半夏瀉心湯 14

瀉心湯類：少陽病期

気・水に働く

和解剤 調和脾胃剤

瀉心とは、心下のつかえを取る
 心の不安感をとる (瀉する) 意
 抗炎症作用が強い苦い成分あり

【効能効果】

みぞおちがつかえ、時に悪心、
 嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って
 軟便または下痢の傾向にある
 急・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢
 消化不良、胃下垂、神経性胃炎、
 胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ
 口内炎、神経症

半夏 大棗 乾姜 黄連



黄芩 人参 甘草